

NTTグループ40年史 特別インタビュー

NTT 株式会社 代表取締役社長
社長執行役員 CEO

島田 明



1985年の民営化から40年の節目の年に「日本電信電話株式会社」から「NTT株式会社」へ——。社名変更と新CIに込めた思い、そしてIOWN・AI時代に向けたNTTグループのめざす姿について、島田社長に伺いました。

—— まず、社名を「NTT株式会社」に変更した狙いからお聞かせください。

NTTグループは、民営化から40年の間に、多様化するニーズや技術の進展に対応し、電話サービスから、モバイル、光、ITソリューション、不動産、エネルギーまで、さまざまな領域へと事業を拡張させてきました。また、競争が激化するグローバル市場にも挑戦し、現在では、グループ会社約1,000社のうち約7割が海外に本社を置き、従業員34万人の約半数が海外に在籍しています。そのような中で「日本電信電話」という社名と、実際の事業内容との間にギャップが大きくなっていました。

グローバルでは、すでに多くのお客さまやパートナーから「NTT」と呼ばれており、今回、その名称を正式な商号として採用しました。国内外統一のコンセプトのもと、技術力やケイパビリティをより分かりやすく伝え、競争の激しいグローバル市場において、存在感を高めていく狙いがあります。

同時に、「NTT Group's Core」として掲げた、「人々の豊かな暮らしと地球の未来に貢献するために、お客さまを発想の原点とし、常に自己革新を続け、世の中にダイナミッ